

Internet Explorer の脆弱性(CVE-2014-1776)の回避策として

「VGX.DLL を無効にする」 バッチファイルについて

2014.4.30

アイ・シー・エス通商株式会社

▼概要

2014/4/27 に Microsoft から公開されたセキュリティアドバイザリ 2963983 には、今回公開された脆弱性を回避策が記載されています。そのうち、「VGX.DLL を無効にする」方法での回避策について、バッチファイルで行えるようにしたものです。

※このバッチファイルは、Windows Vista / Windows 7 以降を対象としたものです。

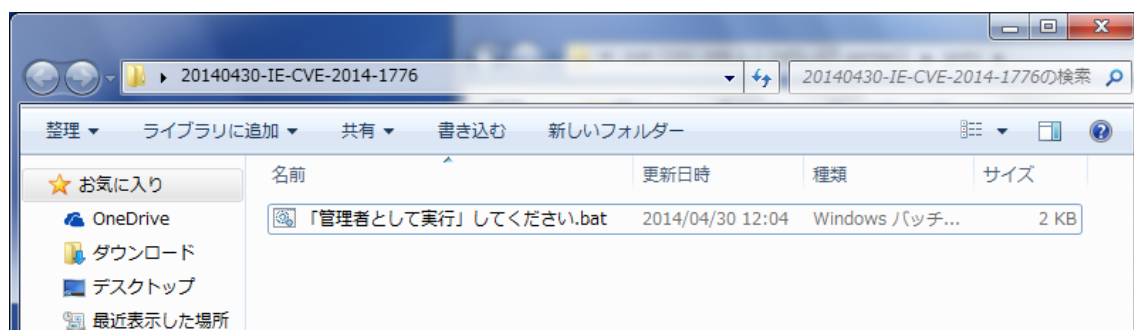
▼免責事項

- ・このバッチファイルは、Microsoft のセキュリティアドバイザリ 2963983 の記述に基づき、弊社のお客様の設定の利便のために作成したものです。
- ・このバッチファイルのご利用はご自身の責任で行ってください。このバッチファイルの実行により生じたいかなる損害にも一切保証を致しませんのでご了承ください。

▼回避策の適用方法

「管理者として実行」してください.bat を、管理者として実行してください。

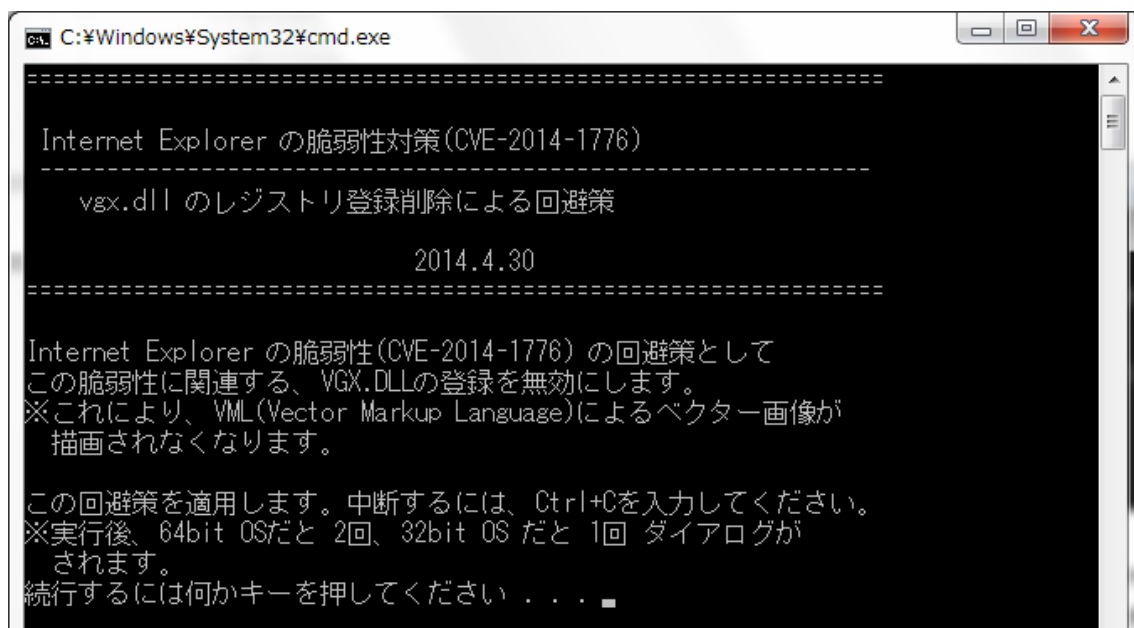
このファイルを右クリックして出てくるメニューから、「管理者として実行」を選択してください。



※「ユーザーアカウント制御」のダイアログでは、「はい」を選択してください。

(以下、次ページ)

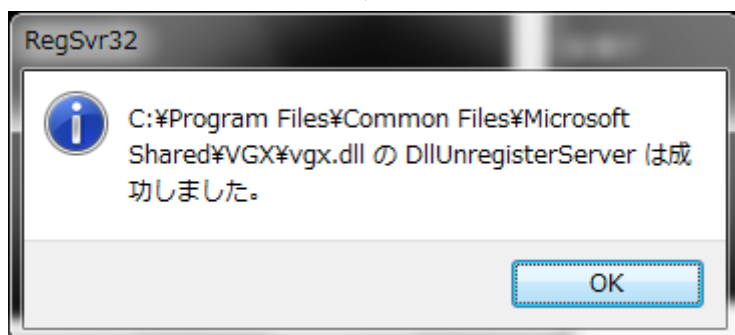
バッチファイルが起動します。



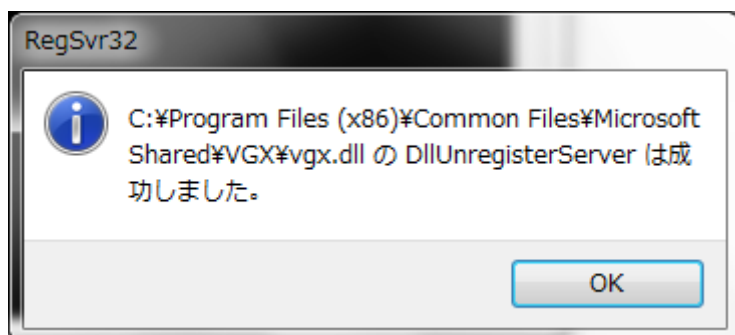
中断する場合は、Ctrl+C(Ctrl キーと「C」のキーを同時に押す)を入力して、次の「バッチジョブを終了しますか (Y/N)?」に「Y」キーを押してください。

何かキーを押すと処理を実行します。実行中に以下のようなダイアログが表示されます。いずれも、「OK」をクリックして進めてください。

(Windows が 64bit 版の場合, 32bit 版の場合の両方ともに表示されるダイアログ)

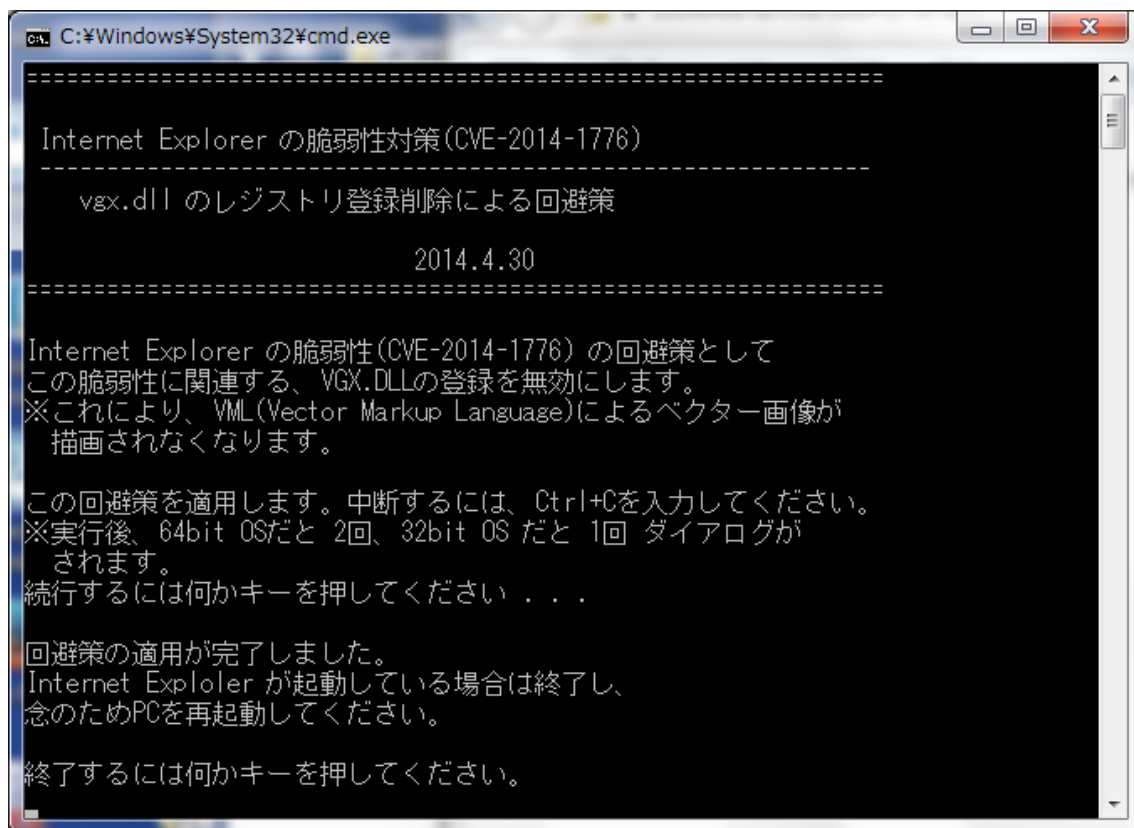


(Windows が 64bit 版の場合にのみ表示されるダイアログ)



処理が完了しました。

Internet Explorer が起動している場合は終了し、念のため PC を再起動してください。



```
C:\Windows\System32\cmd.exe

=====
Internet Explorer の脆弱性対策 (CVE-2014-1776)
=====
vgx.dll のレジストリ登録削除による回避策

2014.4.30
=====

Internet Explorer の脆弱性 (CVE-2014-1776) の回避策として
この脆弱性に関連する、VGX.DLL の登録を無効にします。
※これにより、VML (Vector Markup Language) によるベクター画像が
描画されなくなります。

この回避策を適用します。中断するには、Ctrl+C を入力してください。
※実行後、64bit OS だと 2 回、32bit OS だと 1 回 ダイアログが
されます。
続行するには何かキーを押してください . . .

回避策の適用が完了しました。
Internet Explorer が起動している場合は終了し、
念のため PC を再起動してください。

終了するには何かキーを押してください。
```

以上で回避策の適用は完了しました。

▼参考 URL

Microsoft Security Advisory (2963983)

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/security/advisory/2963983>

IPA 独立行政法人 情報処理推進機構

「Internet Explorer の脆弱性対策について (CVE-2014-1776)」

<http://www.ipa.go.jp/security/ciadr/vul/20140428-ms.html>